



RYOBI



2008年3月期 決算説明資料(詳細)

2008年5月

リョービ株式会社



当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目次

- ① 2008年3月期 連結業績概要
- ② 2009年3月期 連結業績予想
- ③ 同 事業別の状況

3

2008年3月期
連結業績概要

4

■業績の概要

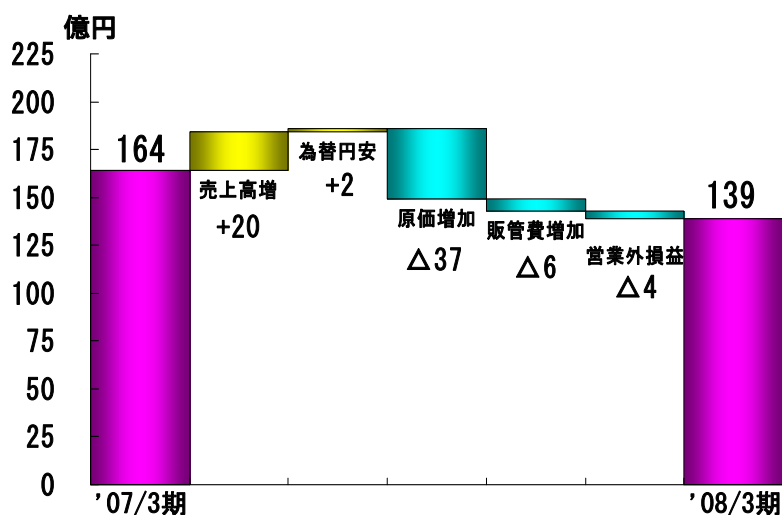
- ・増収、減益。
- ・売上高の増加、コストダウンの推進などにより利益アップに努めたが、原材料価格、減価償却費などの増加が利益を圧迫。

単位：億円

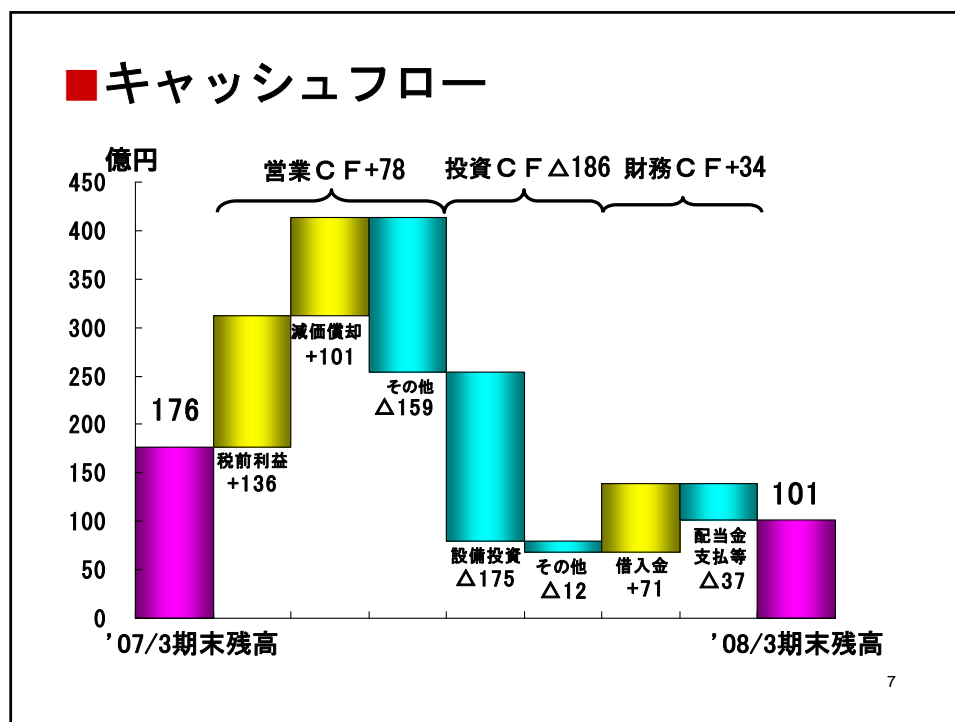
	'06/3期 (利益率%) 実績	'07/3期 (利益率%) 実績①	'08/3期 (利益率%) 実績②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高	1,712	2,047	2,162	115 < +5.6>
営業利益	(7.7) 132	(8.0) 164	(6.6) 142	△21 <△13.0>
経常利益	(7.8) 134	(8.0) 164	(6.4) 139	△25 <△15.4>
当期純利益	(5.0) 86	(4.8) 99	(3.8) 82	△17 <△16.9>
	'06/3期末 実績	'07/3期末 実績①	'08/3期末 実績②	前期末比 ②-① <増減率%>
総資産	1,779	2,025	1,960	△65 <△3.2>
利益剰余金	259	340	392	52 < +15.2>
有利子負債	398	383	452	68 < +17.8>

5

■経常利益増減要因



6



■ 事業別の業績

・ダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で増収、減益。

単位：億円

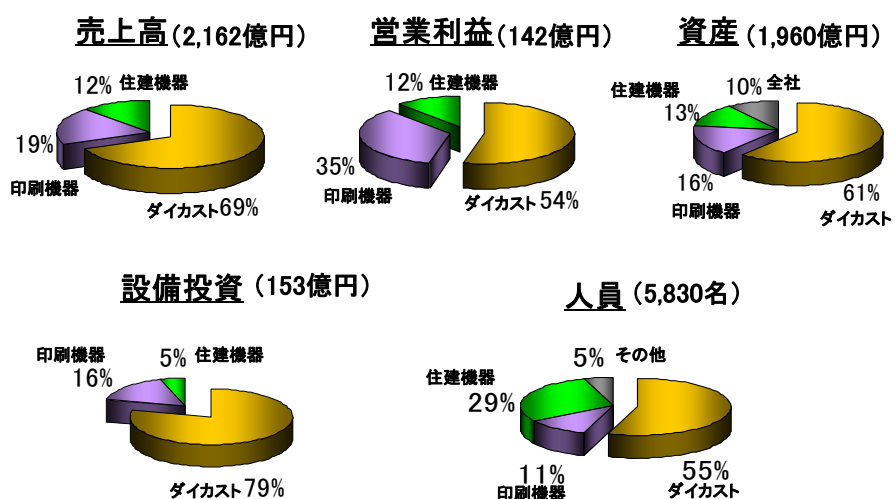
	'06/3期 (構成比%) 実績	'07/3期 (構成比%) 実績①	'08/3期 (構成比%) 実績②	前期比 ②-① <増減率>
売上高				
ダイカスト	(66.8) 1,143	(67.7) 1,386	(68.7) 1,486	100 < +7.2>
印刷機器	(18.9) 323	(19.5) 398	(18.9) 410	11 < +2.8>
住建機器	(14.4) 246	(12.8) 262	(12.3) 266	4 < +1.5>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(6.3) 72	(6.3) 88	(5.1) 76	Δ11 < Δ12.8>
印刷機器	(13.3) 43	(14.7) 59	(12.1) 49	Δ9 < Δ15.8>
住建機器	(7.2) 18	(6.5) 17	(6.2) 16	Δ1 < Δ3.8>

■事業別営業利益の減益要因

- ①ダイカスト (△11億円)
 - ・海外子会社の収益悪化、減価償却費の増加、原材料価格の上昇などにより減益。
- ②印刷機器 (△9億円)
 - ・国内売上高の減少、原材料価格の上昇などにより減益。
- ③住建機器 (△1億円)
 - ・増値税還付率の引き下げ、原材料価格の上昇などにより減益。

9

■事業別構成比('08/3期)



10

2009年3月期 連結業績予想

11

■ 経営環境

① 景気の動向

- ・ 国内は停滞。減速感が増す。
- ・ 米国は後退懸念が強まる。
(サブプライムローン問題の影響など)

② 懸念材料

- ・ 原油、原材料価格の高騰・高止まり。
- ・ 為替の急激な変動。
- ・ 市場の停滞、縮小。
(日米での自動車や印刷機器の販売など)

12

■ 為替レート

	'08/3期	輸出レート	'09/3期想定レート
		換算レート	
US\$	114円		100円
	118円		(30百万円)
EUR	160円		150円
	-----		(20百万円)
stg£	227円		200円
	237円		(10百万円)

()内は1円変動した場合の年間の営業利益影響額。

13

■ 業績予想

・売上高横ばい、減益

単位：億円

	'07/3期	'08/3期	'09/3期	前期比
	(利益率%) 実績	(利益率%) 実績①	(利益率%) 予想②	②-① <増減率%>
売上高	2,047	2,162	2,165	3 <+0.1>
営業利益	(8.0) 164	(6.6) 142	(4.8) 105	△37 <△26.2>
経常利益	(8.0) 164	(6.4) 139	(4.6) 100	△39 <△27.9>
当期純利益	(4.8) 99	(3.8) 82	(2.7) 59	△23 <△28.1>

14

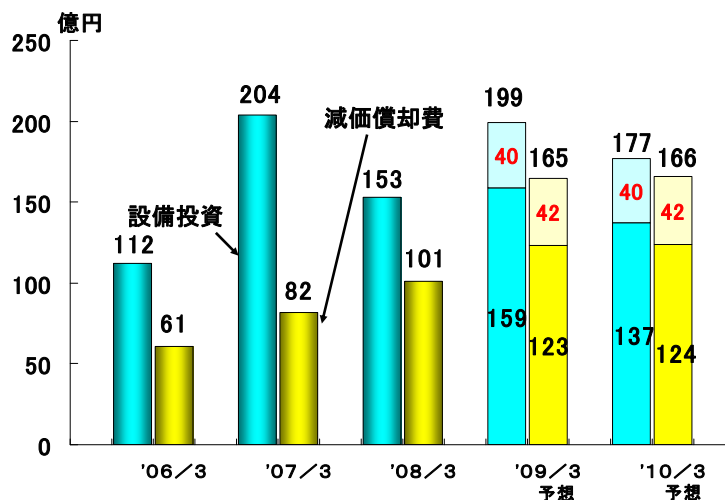
■ 営業利益の主な増減要因 ('08/3期比)

単位：億円

要 因	影響額
増加計 (コストダウン等)	+ 2 3
減少計	△ 6 0
為替変動(円高)	△ 1 0
減価償却費増加	△ 2 2
金型償却費増加	△ 7
原材料価格上昇等	△ 2 1

15

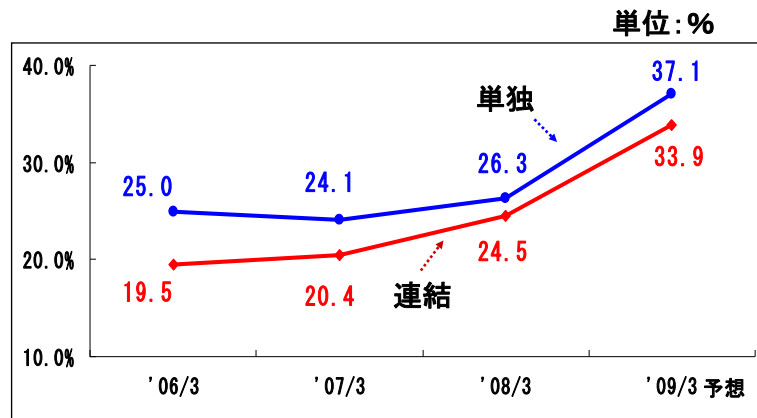
■ 設備投資と減価償却費



'09/3期から一部の金型の会計処理を棚卸資産から固定資産に変更。これにより設備投資、減価償却費に計上される金型分を赤字で示す。

16

■ 配当金・配当性向



年間配当金 (円/株)	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3 予想
年間配当金	10.0	12.0	12.0	12.0
中間			6.0	6.0
期末			6.0	6.0

17

事業別の状況

18

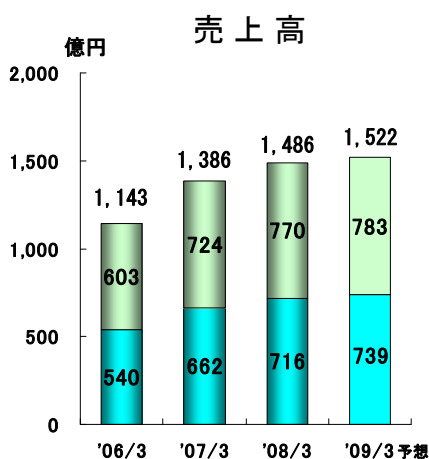
■事業別の業績

単位：億円

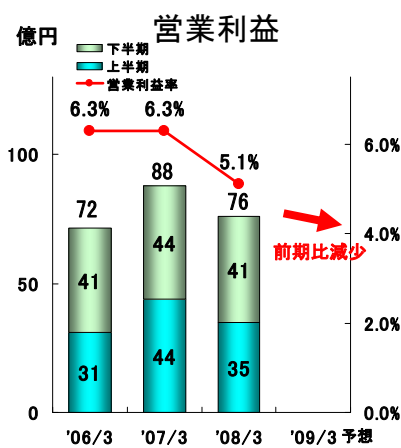
	'07/3期 (構成比%) 実績	'08/3期 (構成比%) 実績①	'09/3期 (構成比%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(67.7) 1,386	(68.7) 1,486	(70.3) 1,522	36 <+ 2.4>
印刷機器	(19.5) 398	(18.9) 410	(17.7) 384	△26 <△6.3>
住建機器	(12.8) 262	(12.3) 266	(12.0) 259	△7 <△2.7>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(6.3) 88	(5.1) 76		減少
印刷機器	(14.7) 59	(12.1) 49		減少
住建機器	(6.5) 17	(6.2) 16		減少

19

■ダイカスト事業

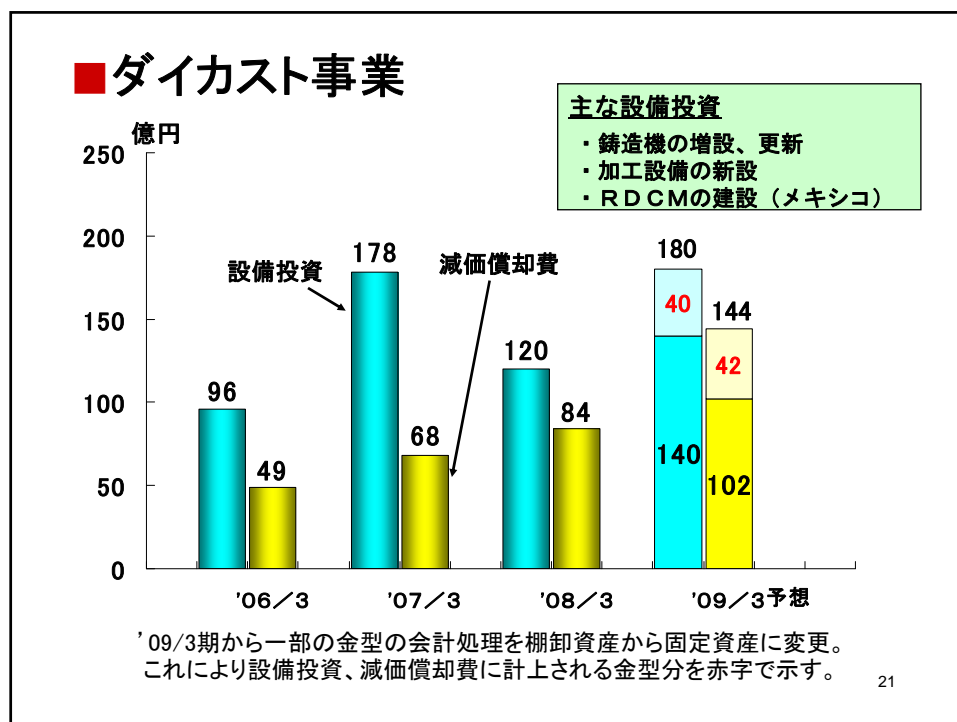


日米で自動車メーカー向けが、若干増収の見通し。



売上高増加だが、減価償却費の増加などにより減益の見通し。

20



■利優比压铸(大連)有限公司

- ・ 総投資額 約40億円。
- ・ 2006年11月から金型の生産を開始。
(リョービ向け)
- ・ ダイカスト製品は2007年12月から量産開始。
(上海GM向け)

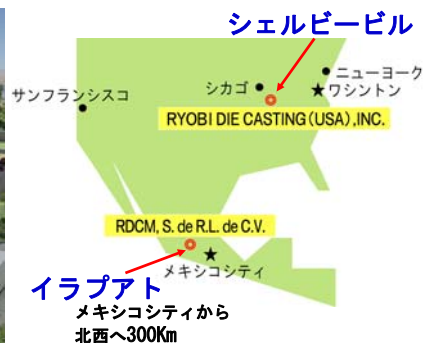


■ RDCM, S.de R.L.de C.V.

- ・メキシコ合衆国 グアナフアト州 イラプアト市
- ・2007年4月設立
- ・現時点の総投資見込み額は約42億円。
- ・2008年8月からダイカスト製品を量産開始予定。

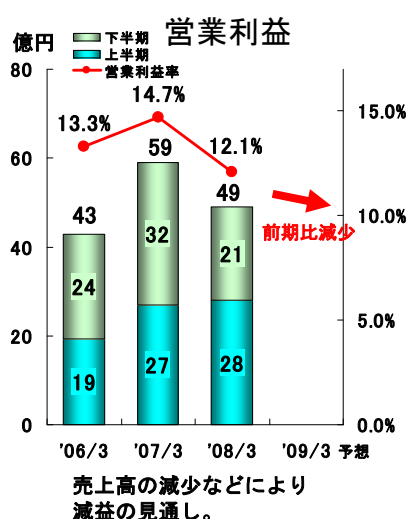
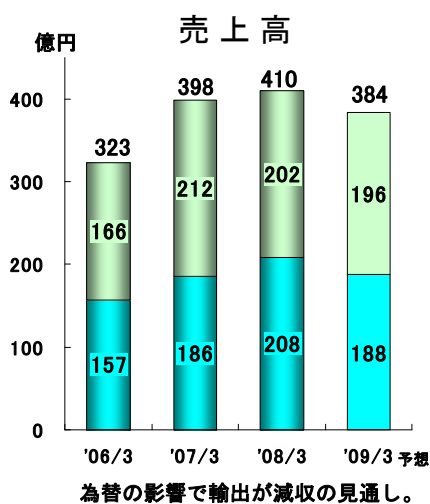


完成予想図



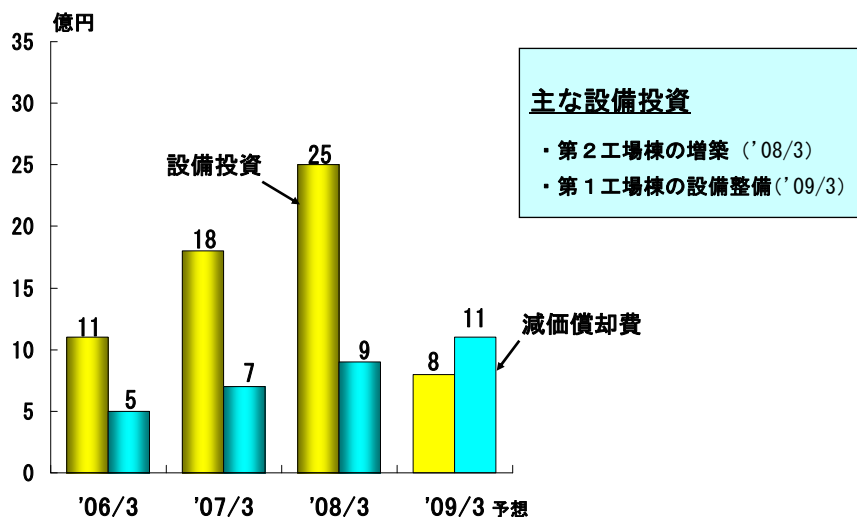
23

■ 印刷機器事業



24

■印刷機器事業



25

■大型印刷機に参入

- ・印刷面積拡大(B2に比べて2倍)による生産性の向上。
- ・薄紙(パンフレット、カタログ等)から厚紙(化粧品、ゴルフボールのパッケージ等)まで、様々な用紙に対応。
- ・'07年 世界市場規模(当社推定)
 - ・全枚葉オフセット印刷機 約6,600億円
 - ・大型印刷機 約3,700億円(全体の約60%)



5月29日～6月11日に
ドイツで開催される
国際総合印刷機材展
「drupa2008」へ出品。

B1サイズ 高速オフセット多色印刷機「RYOBI 1050」シリーズ

26

■ LED-UV印刷システム

世界初！ UV乾燥装置の光源にLEDを採用。
→省エネルギー、環境負荷低減に貢献。

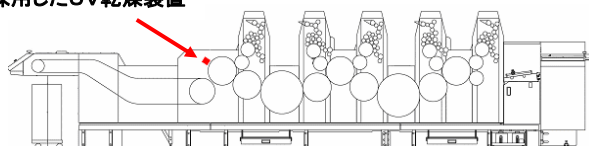


- ・東洋インキ製造株式会社と共同開発
- ・従来のランプ方式に比べて

消費電力量 70～80%削減

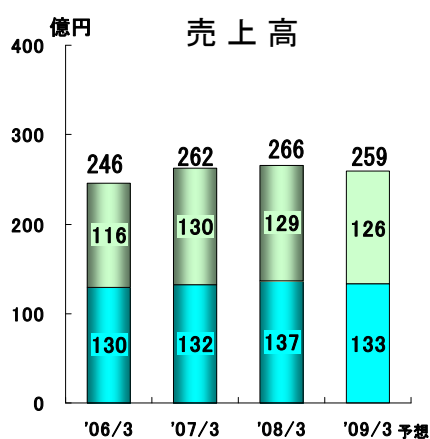
※5月29日～6月11日にドイツで開催される
 国際総合印刷機材展「drupa2008」へ出品。

LEDを採用したUV乾燥装置

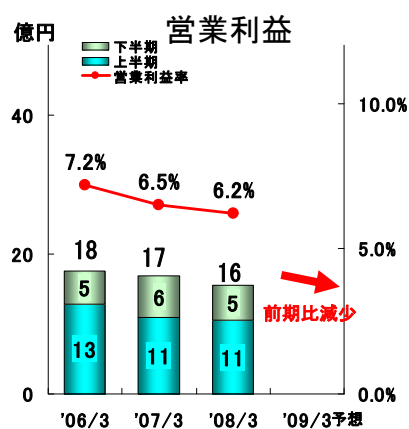


27

■ 住建機器事業

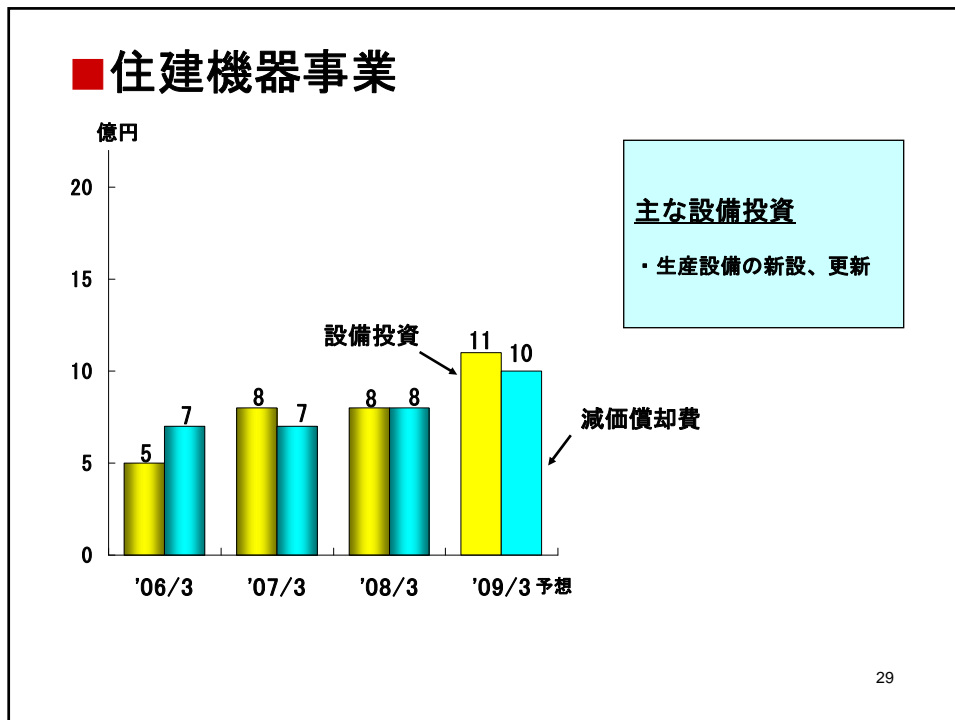


国内、海外とも減収の見通し。
 国内は'08/3下半期以降、改正建築基準法の影響を受ける。



売上高の減少などにより
 減益の見通し。

28



■ 充電式インパクトドライバ BID-143/1440

モーター部からハンドル部にかけて特殊ゲルを採用。
手に伝わる振動や熱を抑え、連続作業時の負担を軽減。



■ 住建機器事業 (建築用品)



ダイヤモンドアクローザ



バックチェック機能付ドアクローザ



耐震ドア対応
コンシールドドアクローザ

■企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。